

# 安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1)3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2)本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number

44 - 5655 - 4

版

2.02

発行日

2025/10/03

前発行日

2024/10/02

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

# 1. 化学品及び会社情報

### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> フッキット<sup>™</sup> フレックス フォームディスク P400-P2000

### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

### 推奨用途

研磨材製品

## 1.3. 会社情報

供給者スリーエム ジャパン株式会社所在地本社 東京都品川区北品川6-7-29担当部門オート・アフターマーケット 製品事業部技術部

電話番号

042-779-2185

# 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

有害とは分類されない。

## GHSラベル要素

### 注意喚起語

適用しない。

### シンボル

適用しない。

### ピクトグラム

適用しない。

# 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
バッキング	営業秘密	20 - 90
酸化アルミニウム	1344-28-1	5 - 15
ポリマー	営業秘密	1 - 5
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	< 5
トリメチロールプロパン トリアクリラ	15625-89-5	2.4
<b>-</b> ▶		
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ	25068-38-6	1.6
ピクロルヒドリンポリマー(ビスフェ		
ノールA型エポキシ樹脂)		
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0. 23
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)	89452-37-9	0. 10
ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス		
[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		
ジフェニル [4-(フェニルチオ)フ	71449-78-0	0. 10
ェニル] スルホニウム・ヘキサフルオ		
ロスチビナート (V)		

# 4. 応急措置

## 応急措置

### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

### 皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 症状が続く場合には医療機関を受診する。

# 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。懸念がある場合は医療機関を受診する。

## 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

## 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

# 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合: 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

## 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

## 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、 顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

# 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

他のセクションの使用上の注意を見る。

## 環境に対する注意事項

適用しない。

# 封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

# 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

切削、研磨、加工により発生するダストの吸入を避ける。

### 保管

適用しない。

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 管理項目

## 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の 許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m3	
アルミニウムとその不溶性化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入性分画): 1mg/m3	A4:ヒトに対する発が ん性物質として分類で きない物質
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの, 吸入粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入粒子) :10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの, 吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA(吸入性粒子):3 mg/m3	

酸化チタン(IV)	13463-67-7		mg/m3;TWA(吸入性微粒 子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA (提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発が ん性の可能性がある。
トリメチロールプロパン トリアクリラート	15625-89-5	AIHA	TWA: 1 mg/m3	皮膚
トリメチロールプロパン トリ アクリラート	15625-89-5	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発が ん性の可能性がある。
クラス1及び2以外の有機及 び無機粉塵、総粉塵	557-05-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8 時間):8 mg/m3; TWA(吸入 性粉じんとして) (8時 間):2 mg/m3	
不活性あるいは有害なダスト	557-05-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの, 吸入粒子	557-05-1	ACGIH	TWA (吸入粒子) :10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの, 吸入性粒子	557-05-1	ACGIH	TWA(吸入性粒子):3 mg/m3	
ステアリン酸塩類	557-05-1	ACGIH	TWA(吸入性分画):3 mg/m3;TWA(吸入性分画):10 mg/m3	A4:ヒトに対する発が ん性物質として分類で きない物質
アンチモン化合物、スチビン を除く	71449-78-0	JSOH OELs	TWA (アンチモンとして) (8時間): 0.1 mg/m3	
CAS NO M~SB~C	71449-78-0	ACGIH	TWA (アンチモンとして) : 0.5 mg/m3	
アンチモン化合物、スチビン を除く	89452-37-9	JSOH OELs	TWA (アンチモンとして) (8時間): 0.1 mg/m3	
CAS NO M~SB~C	89452-37-9	ACGIH	TWA (アンチモンとして) : 0.5 mg/m3	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA:時間加重平均値 STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m3:ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

# ばく露防止策

### 設備対策

研磨・研削・切削加工のために適切な局所排気装置を準備・提供する。

# 保護具

# 眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。

### 皮膚及び身体の保護具

粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

# 呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価すること。呼吸保護具を選択する場合は、研磨される材料を考慮すること。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な保護マスクを選択して使用すること。

# 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理・化学的性質

固体
青色,茶色,緑色
無臭
適用しない
適用しない
適用しない
データはない。
データはない。
データはない。
適用しない
データはない。
データはない。
データはない。
データはない。

(JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

## ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性 適用しない

# 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

知見はない。

### 混触危険物質

知見はない。

### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

# 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

## 吸入した場合

研磨粒子による粉じんは呼吸器を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、かすれ声、鼻・喉の痛みなど。

### 皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激: 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

### 眼に入った場合

機械的な眼刺激: 疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。

## 飲み込んだ場合

人体への健康影響は考えられない。

#### 追加情報

本製品を使用方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。 このSDSは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。 本製品は二酸化チタンを含有する。高濃度の二酸化チタンを吸入したラットでは、肺がんが観察されているが、本製品の通常の使用状況では、二酸化チタンの吸入ばく露は予想されない。二酸化チタンを含有する類似製品で行った使用時空気サンプリングでは、二酸化チタンは検出されなかった。したがって、本製品での二酸化チタンによる健康被害は想定されない。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000
			mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入-粉塵	ラット	LC50 > 2.3 mg/1
	/ミスト (4		
	時間)		
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
トリメチロールプロパン トリアクリラート	皮膚	ウサギ	LD50 5,170 mg/kg
トリメチロールプロパン トリアクリラート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポ	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
リマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)			
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポ	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
リマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)			
ステアリン酸亜鉛	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ステアリン酸亜鉛	吸入-粉塵	ラット	LC50 > 50 mg/l
	/ミスト (4		
	時間)		
ステアリン酸亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入-粉塵	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
	/ミスト (4		
	時間)		
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ジフェニル [4- (フェニルチオ) フェニル] スルホニウ	経口摂取	ラット	LD50 >300, <2000 mg/kg
ム・ヘキサフルオロスチビナート(V)			
(スルファンジイルジ-4, 1-フェニレン) ビス (ジフェニルス	経口摂取	類似化	LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg
ルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		合物	

ATE=推定急性毒性

# 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	ウサギ	軽度の刺激
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビス	ウサギ	軽度の刺激
フェノールA型エポキシ樹脂)		
ステアリン酸亜鉛	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
(スルファンジイルジ-4, 1-フェニレン) ビス (ジフェニルスルホニウム)=	ウサギ	刺激性なし
ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		
ジフェニル [4- (フェニルチオ) フェニル] スルホニウム・ヘキサフ	ウサギ	刺激性なし
ルオロスチビナート (V)		

# 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	ウサギ	腐食性
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビス	ウサギ	中程度の刺激
フェノールA型エポキシ樹脂)		
ステアリン酸亜鉛	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
(スルファンジイルジ-4, 1-フェニレン) ビス (ジフェニルスルホニウム)=ビ	ウサギ	軽度の刺激
ス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		
ジフェニル [4- (フェニルチオ) フェニル] スルホニウム・ヘキサフル	ウサギ	軽度の刺激
オロスチビナート (V)		

# 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トリメチロールプロパン トリアクリラート	モルモッ	感作性あり
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	- ヒト及び 動物	感作性あり
ステアリン酸亜鉛	ヒト	区分に該当しない。
酸化チタン (IV)	ヒト及び 動物	区分に該当しない。
(スルファンジイルジ-4, 1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム) = ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	モルモッ ト	感作性あり
ジフェニル $[4-(フェニルチオ) フェニル]$ スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート $(V)$	モルモッ ト	感作性あり

# 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビス	ヒト	区分に該当しない。
フェノールA型エポキシ樹脂)		

# 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果	

# 3M<sup>™</sup> フッキット<sup>™</sup> フレックス フォームディスク P400-P2000

酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	In vivo	変異原性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビス	In vivo	変異原性なし
フェノールA型エポキシ樹脂)		
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビス	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノールA型エポキシ樹脂)		
ステアリン酸亜鉛	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=	In vivo	変異原性なし
ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		
ジフェニル [4-(フェニルチオ) フェニル] スルホニウム・ヘキサフ	In vivo	変異原性なし
ルオロスチビナート (V)		
ジフェニル [4- (フェニルチオ) フェニル] スルホニウム・ヘキサフ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ルオロスチビナート (V)		

# 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した 場合	ラット	発がん性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	皮膚	マウス	発がん性
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポ リマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類 の動物 種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した 場合	ラット	発がん性

# 生殖毒性

# 生殖発生影響

<u>/E/U/// E</u>					
名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当し	ラット	NOAEL 750	2 世代
ピクロルヒドリンポリマー(ビスフェ		ない。		mg/kg/日	
ノールA型エポキシ樹脂)					
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当し	ラット	NOAEL 750	2 世代
ピクロルヒドリンポリマー(ビスフェ		ない。		mg/kg/日	
ノールA型エポキシ樹脂)					
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300	器官発生期
ピクロルヒドリンポリマー(ビスフェ				mg/kg/日	
ノールA型エポキシ樹脂)					
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750	2 世代
ピクロルヒドリンポリマー(ビスフェ				mg/kg/日	
ノールA型エポキシ樹脂)					

# 標的臟器

# 特定標的職器毒性、単同ばく霞

名称	経路	標的臟器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間		
トリメチロールプロパン	吸入した	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類に	類似健	NOAEL 入手			
トリアクリラート	場合		は不十分。	康有害	できない			
				性				

# 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臟器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した	塵肺症	陽性データはあるが、分類に	ヒト	NOAEL 入手	職業性被ば
	場合		は不十分。		できない	<
酸化アルミニウム	吸入した	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手	職業性被ば
	場合				できない	<
トリメチロールプロパ	皮膚	免疫システム	長期ばく露又は反復ばく露に	マウス	NOAEL 50	16 目
ン トリアクリラート			よる臓器障害のおそれ		mg/kg/day	
トリメチロールプロパ	皮膚	心臟   造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12	28 週
ン トリアクリラート		│ 腎臓および膀胱 │ 呼吸器系			mg/kg/day	
4,4'-イソプロピリデン	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000	2 年
ジフェノールエピクロ					mg/kg/day	
ルヒドリンポリマー						
(ビスフェノールA型エ						
ポキシ樹脂)	l be					\
4,4'-イソプロピリデン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 000	13 週
ジフェノールエピクロ					mg/kg/day	
ルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エ						
(ピスノエノールA型エ ポキシ樹脂)						
4,4'-イソプロピリデン	経口摂取	聴覚系   心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000	28 目
ジフェノールエピクロ	在口1公以	内分泌系   造血	四方に映画しない。	791	mg/kg/day	20 Д
ルヒドリンポリマー		器系   肝臓   眼			mg/ Ng/ day	
(ビスフェノールA型エ		腎臓および膀胱				
ポキシ樹脂)						
ステアリン酸亜鉛	経口摂取	心臟   内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000	28 日
		消化管   造血			mg/kg/day	
		器系   肝臓   免				
		疫システム 神				
		経系   眼   腎臓				
		および膀胱   呼				
75 H. of his (777)	nT7 → ) )	吸器系		- ,		o be
酸化チタン(IV)	吸入した 場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類に は不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手	職業性被ば
	場合				できない	<

### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

# 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

### 水生環境有害性 短期(急性)

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

# 水生環境有害性 長期(慢性)

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンド	試験結果
					ポイント	
酸化アルミニ	1344-28-1	該当なし	実験	96 時間	LC50	>100 mg/1
ウム						
酸化アルミニ	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/1
ウム						
酸化アルミニ	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/1
ウム						
酸化アルミニ	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/1
ウム						
ステアリン酸	557-05-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/1
亜鉛						
ステアリン酸	557-05-1	ゼブラフィッ	実験	96 時間	水への溶解限	>100 mg/1
亜鉛		シュ			界において毒	
					性は見られな	
					V	
4, 4' -イソプ	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/1
ロピリデンジ						
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)						
	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	LC50	1.8 mg/1
ロピリデンジ						
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)						
	25068-38-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/1
ロピリデンジ						
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)		( ) - + + \( ( ) \)	FA	= = = t ===		/-
4, 4' -イソプ	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>11 mg/1
ロピリデンジ						
フェノールエ						

	1	T	T	T	Г	
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)						
4, 4' -イソプ	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	4.2 mg/1
ロピリデンジ						
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)						
4, 4'ーイソプ	25068-38-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.3 mg/1
ロピリデンジ	23008 38 0			21 H	NOEC	0.5 lig/1
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
(ピスノェノ ールA型エポ						
キシ樹脂)			1//			/ .
	89452-37-9	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.044 mg/1
ジイルジ-						
4,1-フェニレ						
ン) ビス(ジフ						
ェニルスルホ						
ニウム)=ビス						
[ヘキサフル						
オロアンチモ						
ナート(1-)]						
(スルファン	89452-37-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.68  mg/1
ジイルジ-						
4,1-フェニレ						
ン) ビス(ジフ						
ェニルスルホ						
ニウム)=ビス						
[ヘキサフル						
オロアンチモ						
ナート(1-)]						
(スルファン	89452-37-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.007 mg/1
ジイルジー						
4, 1-フェニレ						
ン)ビス(ジフ						
エニルスルホ						
ニウム)=ビス						
[ヘキサフル						
オロアンチモ						
ナート(1-)]	71440 70 0	√∃. 寸片 字云	女験	70 吐用	E. CEC	0.01/1
ジフェニル	71449-78-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.01 mg/1

		,		1	,	
[4-(フェ						
ニルチオ)フ						
ェニル]スル						
ホニウム・ヘ						
キサフルオロ						
スチビナート						
(V)						
ジフェニル	71449-78-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.25 mg/1
「4 ー (フェ	11443 10 0			40 k/1 [b]	LC30	0.20 mg/1
ニルチオ)フ						
· ·						
ェニル]スル						
ホニウム・ヘ						
キサフルオロ						
スチビナート						
(V)						
ジフェニル	71449-78-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.002 mg/1
[4- (フェ						
ニルチオ)フ						
ェニル]スル						
ホニウム・ヘ						
キサフルオロ						
スチビナート						
(V)						
酸化チタン	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/1
IXTLアクラ (IV)	13403 07 7			2 时间	NOEC	/-1, 000 mg/1
	10460 67 7	珪藻	女験	70 II+ BB	POEO	\10.000 /1
酸化チタン	13463-67-7		実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/1
(IV)						) /a
酸化チタン	13463-67-7	ファットヘッ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/1
(IV)		ドミノウ				
		(魚)				
酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/1
(IV)						
酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/1
(IV)						
トリメチロー	15625-89-5	液状化	実験	30 分	EC20	625 mg/1
ルプロパン						
トリアクリラ						
<b>−</b> ト						
トリメチロー	15625-89-5	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	14.5 mg/1
ルプロパン						
トリアクリラ						
ート						
トリメチロー	15625-90 F	ミジンコ	実験	48 時間	1.050	10 0 mg/1
トリメテロールプロパン	10020-89-5		天ਆ	40 时间	LC50	19.9 mg/1
トリアクリラ						
<u>ート</u>	15005	10.3-	L→ EA		1, 050	0.05 /1
トリメチロー	15625-89-5	ゼブラフィッ	実験	96 時間	LC50	0.87 mg/1
ルプロパン		シュ				
トリアクリラ						

<b>→</b>						
トリメチロー	15625-89-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	1.9  mg/1
ルプロパン						
トリアクリラ						
ート						

# 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニ	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ウム						
ステアリン酸	557-05-1	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	14.6 %BOD/Th	OECD 301D - クロー
亜鉛		性		要求量	OD	ズドボトル法
4, 4' -イソプ	25068-38-6	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	5 %BOD/COD	OECD 301F
ロピリデンジ		性		要求量		
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)						
,	25068-38-6	実験 加水分		加水分解性半		
ロピリデンジ		解		減期	1/2)	
フェノールエ						
ピクロルヒド						
リンポリマー						
(ビスフェノ						
ールA型エポ						
キシ樹脂)						
1 '	89452-37-9	推定値 生分	28 日		37.9 CO2発生	EC C. 5 BOD
ジイルジ-		解性		発生	量/理論C02発	
4,1-フェニレ					生量(10-day	
ン)ビス(ジフ					windowの基準	
エニルスルホ					を満たさな	
ニウム)=ビス					(V)	
[ヘキサフル						
オロアンチモ						
ナート(1-)]					0 0007411 日 /	onen ooth Mark
ジフェニル	71449-78-0	実験 生分解	28 日			OECD 301B - 修正シ
[4-(フェ		性		発生	理論C02発生	ュツルム試験又は二
ニルチオ)フ					量%	酸化炭素
エニル]スル						
ホニウム・ヘキサフルオロ						
スチビナート						
(V) 動化チカン	19469 67 7	ゴーカアロ	⇒ケ 小 ナ> 」	⇒ケン/ チ> 1	学 小 チ2 」	⇒ か 4× 1
酸化チタン	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
(IV)	15005 00 5		00 11	一些儿出去。	00 00 0003%	ODOD DOID 1/2
トリメチロー	15625-89-5	実験 生分解	28 日	二酸化炭素の	82-90 CO2発	OECD 301B - 修正シ

ルプロパン	性	発生	生量/理論C02	ュツルム試験又は二
トリアクリラ			発生量%	酸化炭素
ート				

# 生体蓄積性

数   配係数)、高速液体	材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ない、あるい は不足している。   オクタノール   4.64   OECD 117、log Kow   イクタノール   7.8   全態濃縮   オクタノール   7.8   分配係   カクタノール   7.8   カの配係   カクの配係   カクの配係   カクタノール   7.8   カの配係   カクの配係   カクの配係   カカの配係   カクの配条   カクの配係   カカの配係   カカの配格   カカの配格			分類にデー	<del></del>	<u> </u>		該当なし
は不足している。  ステアリン酸 557-05-1 実験 生態濃 オクタノール 4.64 OECD 117、1og Kow (オクタノール/水 分配係 数 ロビリデンジフェノールエ (ガリアンジコンノールス型エボキシ樹脂) (スルファン 3.242 グイルジー4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフルオロアンチモナート(1-)] ジフェニル [4 - (フェニルチオ)フェニル]スル オクタノール   推定値 生態 激縮 オクタノール   本方タノール   本方名の   本方名の   本方タノール   本方名の   本方名の	ウム		タが利用でき				
ある。   ステアリン酸   557-05-1   実験 生態濃   オクタノール   4.64   OECD 117、log Kow (オクタノール/水/			ない、あるい				
五テアリン酸   157-05-1   実験 生態濃縮			は不足してい				
亜鉛							
数   配係数)、高速液体 クロマトグラフィー   4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノール A型エポキシ樹脂)   (スルファンジイルジー4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]   ジフェニル [4-(フェニルチオ)フェニル]スル   推定値生態   オクタノール   本が   大クタノール   本が   大クタノール   本が   大の原係   大の原作   大の原係   大の原体   大の原	ステアリン酸	557-05-1	実験 生態濃			4. 64	OECD 117, log Kow
カクタノール   カクタノール   カクタノール   カクタノール   カクタノール   カクタノール   水 分配係   数   カクタノール   大 分配係   数   カクタノール   本シ樹脂)   (スルファン ジイルジー   4,1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモナート(1-)]   ジフェニル   オクタノール   オクタノール   オクタノール   オクタノール   オロアンチモナート (1-)   ブフェニル   スル   オクタノール   イ カクタノール   イ カクタノール   イ カクタノール   イ カクタノール   イ カクタノール   イ カーの   本定値 生態   オクタノール   イ カクタノール   カクタム   カクタノール   カクタノール   カクタノール   カクタノール   カクタム   カクタノール   カクタノール   カクタム   カクタム   カクタム   カクタム   カクタム   カクタム   カクタム   カクタム   カムタム   カム	亜鉛		縮		/水 分配係		(オクタノール/水分
4,4'-イソプ ロピリデンジ フェノールエ ピクロルヒド リンポリマー (ビスフェノ ールA型エポ キシ樹脂) (スルファン ジイルジー 4,1-フェニレ ン) ビス(ジフ エニルスルホ ニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)] ジフェニル [4 - (フェニルチオ) フ エニル スル エニルチオ) フ エニル スル エニルチオ) フ エニル スル スル エニルチオ) フ エニル スル					数		配係数)、高速液体
ロピリデンジ フェノールエ ピクロルヒド リンポリマー (ビスフェノ ールA型エポ キシ樹脂) (スルファン ジイルジー 4,1-フェニレ ン) ビス(ジフ エニルスルホ ニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)] ジフェニル [4 - (フェ ニルチオ) フ エニルチオ) フ エニル スル							クロマトグラフィー
フェノールエ ピクロルヒド リンポリマー (ビスフェノ ールA型エポキシ樹脂) (スルファン ジイルジー 4,1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモナート(1-)] ジフェニル [4-(フェニルチオ) フェニル] スル	1 '	25068-38-6				3. 242	
ピクロルヒド リンポリマー (ビスフェノ ールA型エポ キシ樹脂) (スルファン 89452-37-9 推定値 生態 ジイルジー 4,1-フェニレ ン) ビス(ジフ ェニルスルホ ニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)] ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態 漫縮 オクタノール -0.426 機縮 オクタノール -0.426 微縮 数 タ配係 数			縮				
リンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂) (スルファン 89452-37-9 推定値 生態 ジイルジー 4, 1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフルオロアンチモナート(1-)] ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態 [4-(フェニルチオ) フェニル] スル					数		
(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) (スルファン 89452-37-9 推定値 生態 オクタノール ≤4.09 ジイルジー4,1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)] ジフェニル [4-(フェニルチオ)フェニル] スル 71449-78-0 推定値 生態 数 オクタノール -0.426 数							
ールA型エポキシ樹脂) (スルファン 89452-37-9 推定値 生態 オクタノール /水 分配係 数							
キシ樹脂							
(スルファン 89452-37-9 推定値 生態							
ジイルジー 4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]     (本定値 生態 カクタノール つの、426       ジフェニル [4-(フェニルチオ)フェニル] スル     (本定値 生態 数 カラシール ののでは、 一の、426 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数							
4,1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフルオロアンチモナート(1-)] ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態	1 '	89452-37-9				≤4. 09	
ン) ビス(ジフ ェニルスルホ ニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)] ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態 [4-(フェ ニルチオ)フ ェニル] スル  **Truly	l '		濃縮				
エニルスルホ ニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)] ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態 [4-(フェ ニルチオ)フェニル] スル					数		
ニウム)=ビス [ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)]   ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態	' \ \						
[ヘキサフル オロアンチモ ナート(1-)] ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態 [4-(フェ ニルチオ)フ ェニル]スル 数 オクタノール -0.426							
オロアンチモ   ナート(1-)							
ナート(1-)]	- ·						
ジフェニル 71449-78-0 推定値 生態							
[4-(フェ     濃縮       ニルチオ) フェニル] スル     数		71440 79 0	<b>米字荷 </b>		<b>子</b> 万万万元司。	0.496	
ニルチオ) フ ェニル] スル 数		11449-76-0				-0.420	
エニル] スル			(0)交 州日				
	· ·				效人		
	ホニウム・ヘ						
キサフルオロ	· ·						
スチビナート							
酸化チタン 13463-67-7 実験 BCF - 42 日 生物濃縮係数 9.6		13463-67-7	実験 BCF -	42 日	生物濃縮係数	9. 6	
(IV) 魚							
トリメチロー 15625-89-5 推定値 生態 オクタノール 4.35		15625-89-5			オクタノール	4. 35	
ルプロパン   濃縮   /水 分配係							
トリアクリラー数			per sell list				

# 土壌中の移動性

データはない。

## オゾン層への有害性

データはない。

# 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

# 14. 輸送上の注意

## 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

# 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制(主な適用法令)

労働安全衛生法:危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物(法第 57 条の3)

労働安全衛生法:皮膚等障害化学物質(安衛則第594条の2第1項);皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用

すること

労働安全衛生法:施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法:施行令18条有害物質(表示物質)

労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質:労働省労働基準局長通達 基発第312号の3の別添1「変異原性が認められた

化学物質による健康障害を防止するための指針」

労働基準法に基づく「感作性」化学物質:労働省労働基準局通達 基準第182号の2

消防法:指定可燃物(合成樹脂類、その他のもの)

本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

### 主な法規制物質

## 労働安全衛生法:通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分			2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
		該当	該当	該当
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン) ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス [ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]		該当	該当	該当
ジフェニル [4 - (フェニルチオ) フェニル] スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート (V)		該当	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

トリメチロールプロパン トリアクリラ	1, 1, 1-トリメチロールプロパン 該	<b>核当</b>	該当	該当
<b>←</b>	トリアクリル酸エステル			

### 毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
(スルファンジイルジ-4, 1-フェニレン)ビ	アンチモン化合物及びこれを含有する	劇物
ス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキ	製剤。ただし、次に掲げるものを除	
サフルオロアンチモナート(1-)]	く。イ 4-アセトキシフェニルジメチ	
	ルスルホニウム=ヘキサフルオロアン	
	チモネート及びこれを含有する製剤、	
	ロ アンチモン酸ナトリウム及びこれ	
	を含有する製剤、ハ 酸化アンチモン	
	(III)を含有する製剤、ニ 酸化アンチ	
	モン(V)及びこれを含有する製剤、ホ	
	四酸化二アンチモン及びこれを含有す	
	る製剤、ヘ トリス(ジペンチルジチオ	
	カルバマト-κ(2)S,S')アンチモン5%以	
	下を含有する製剤、ト 硫化アンチモ	
	ン及びこれを含有する製剤	
	アンチモン化合物及びこれを含有する	劇物
ニル]スルホニウム・ヘキサフルオロス	製剤	
チビナート (V)		
ジフェニル [4-(フェニルチオ)フェ	アンチモン化合物及びこれを含有する	劇物
ニル] スルホニウム・ヘキサフルオロス	製剤。ただし、次に掲げるものを除	
チビナート (V)	く。イ 4-アセトキシフェニルジメチ	
	ルスルホニウム=ヘキサフルオロアン	
	チモネート及びこれを含有する製剤、	
	ロ アンチモン酸ナトリウム及びこれ	
	を含有する製剤、ハ 酸化アンチモン	
	(III)を含有する製剤、ニ 酸化アンチ	
	モン(V)及びこれを含有する製剤、ホ	
	四酸化二アンチモン及びこれを含有す	
	る製剤、ヘ トリス(ジペンチルジチオ	
	カルバマト-κ(2)S,S')アンチモン5%以	
	下を含有する製剤、ト硫化アンチモ	
	ン及びこれを含有する製剤	

# 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション15:労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.

セクション8:作業環境許容値 情報修正.

セクション9:蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正. セクション12:残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション15:労働安全衛生法の表 情報修正.

免責事項:この安全データシート(SDS)の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。 (法令で要求される場合を除く)本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本

国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む(これらに限定されるものではありません)適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。